

市原認知症対策連絡協議会 第10回総会、第28回例会 議事録

日時 令和4年4月21日(木) 18時30分～19時30分

場所 Zoomを用いたウェブ会議

司会 飯吉 裕樹(介護老人保健施設 なんな苑)

参加者 34名



第10回 総会

1. 開会あいさつ

市原市認知症対策連絡協議会会長 小沢 義典 医師(ろうさい病院)

2. 令和3年度活動報告

- ・コロナウイルス感染症のためほぼ全てのプロジェクトは行われていない。
- ・令和3年4月22日(木)第9回総会・第24回例会を開催した。
Web開催 参加者32名
 - ・役員継続の件
 - ・プロジェクトの確認
 - ・コミナティ接種について
 - ・人生会議(ACP)について
- ・令和3年7月29日(木)第25回 例会を開催した。
Web開催 参加者30名程度
 - ・講演「人類史から見る認知症予防」(小沢先生;市認協会長、ろうさい病院)
- ・令和3年10月28日(木)第26回 例会を開催した。
Web開催 参加者31名
 - ・Zoomを使っての討論会
 - ・認知症多職種協働研修のテーマ
 - ・助成金の申請について
 - ・見守りシールの説明
 - ・地域の困りごとって何ですか?

- ・令和4年1月27日（木）第27回 例会を開催した。

会場：Web 開催 参加者 35名

- ・市認協の振り返り
- ・インフォメーション
- ・認知症サポーターのステップアップ研修案の説明
- ・認知症当事者からの語り掛けをしてくれる方の発掘

- ・役員会 令和3年6月29日、令和3年10月4日、令和4年1月18日、令和4年4月4日に開催した。

- ・令和3年4月28日 RUN伴+いちはら会議 出席した。

- ・令和4年1月25日 RUN伴実行委員会（全国）による説明会（ウェブにて） 出席した。

- ・令和4年度 RUN伴+いちはら 役員 の件。

- ・以下の者を「NPO法人認知症フレンドシップクラブ」に登録した。

実行委員長 飯吉 裕樹（介護老人保健施設なんな苑）

広報 小山 史樹（特別養護老人ホーム清流苑）

会計 高橋 瑞穂（NPO法人一步一步）

3. 会計報告

別紙 参照。

4. 監査報告

会計監査より誤りがないとの報告を受け、出席者全員から承認を受けた。

5. 市原市認知症対策連絡協議会 役員継続の件 確認

- ・昨年度はプロジェクトの活動ができていないため、役員はさらに1年間の任期継続とする。
- ・ただしそれぞれの者の人事異動や退職等により

会計 高橋 瑞穂氏 → 宮崎 倫子氏（市原市地域包括支援センター）

幹事 高地 優二氏 → 大戸 優子氏（中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット）

幹事 小倉 唯香氏 → 小原 徹氏（市原市役所 保健福祉部 共生社会推進課）

が新たな役員候補となる。

- ・出席者全員の承認を受け令和4年度役員が決定する。
- ・会計については市認協と「RUN伴+いちはら」の会計を兼務することとする。

・今年度役員名簿

会長	小沢 義典	千葉ろうさい病院
副会長	小出 貢二	市原市医師会、小出脳神経外科クリニック
	永野 伸一	市原市歯科医師会、永野歯科医院
	細川 清史	だいした薬局
事務局長	飯吉 裕樹	介護老人保健施設 なんな苑
会計	宮崎 倫子	市原市地域包括支援センター こくぶんじ台
幹事	石川 道子	介護センター なのはな
	袴田 龍一	市原市広域支援センター（白金整形外科病院）
	大戸 優子	中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット
	小原 徹	市原市役所 保健福祉部 共生社会推進課
	福田 卓美	特別養護老人ホーム和光苑
	藤森 三月	市原鶴岡病院
	村山 愛佳	市原市地域包括支援センター たつみ
	安田 清	斎賀医院
監査	岩本 明子	千葉ろうさい病院

6. 現在のプロジェクトの確認の件

以下、昨年度より継続しているプロジェクトを掲げる。

- A: 若年性認知症対策プロジェクト
- B: 認知症サポータープロジェクト
- C: 在宅介護者を支えるマニュアル作成プロジェクト
- D: 服薬支援ネットワークプロジェクト
- E: 新規プロジェクト検討プロジェクト
- F: フェスタプロジェクト
- G: 「RUN 伴+いちはら」プロジェクト
- H: ステッカープロジェクト

第 28 回 例会

7. 令和 4 年度の活動計画説明

- ・コロナ禍の影響で2年間まるで活動ができなくなっている。
- ・コロナ禍ではあるがところによっては小規模のイベントが行われているところもある。
- ・大々的なイベントは難しいかもしれないがそろそろウィズコロナで何ができるかを考えてみませんか。

8. 役員会で出た原案の提示

- ・対面式とウェブを用いたハイブリッド式であれば相談イベントとの相性が良いのではないかと。

例えば

- ・認知症の相談（医師）
 - ・歯科相談（歯科医師）
 - ・地域包括支援センターの役割の説明（地域包括支援センター）
 - ・介護保険の相談（ケアマネジャー）
 - ・薬と健康の相談（薬剤師）
 - ・健康と運動相談（理学療法士）
 - ・失語や若年性認知症の相談や啓蒙（言語聴覚士）
-
- ・幾つかのブースで比較的大型（40～50型）のテレビを設置して動画やパワーポイントを流すのはどうか。

例えば

- ・認知症ってこういうものだよ（寸劇）
 - ・失語症の方々とのコミュニケーションのポイント
 - ・認知症の方々とのコミュニケーションのポイント
 - ・認知症の開設 DVD（認知症サポーター養成講座用）
-
- ・テレビはグランモア和光苑、福祉ネット、なんな苑で日曜日であれば5台ほど貸出可能。
 - ・亚克力板やシールドも日曜日であれば広域支援センター、福祉ネット、なんな苑にて貸出可能。
-
- ・二次元コードをブースに設けてイベントの説明のサイトに繋げるイベントはどうか。
-
- ・ポケット Wi-Fi はたくさん繋いでしまうと速度が落ちてしまう。
 - ・ウェルシア・コミュニケーションセンターいちほら（以下ウェルコミ）は Wi-Fi が使えて便利ではないか。
 - ・ウェルコミの URL は <https://ichihara-machisapo.jp/welcomi.php>
 - ・ウェルコミを利用すれば使用料金が安く抑えられるのではないかと。

9. グループワーク

- ・会員の皆様のイベント開催についての意見を伺う為、A、B、C、D、E、Fまでのグループに分かれてグループワークを行う。
- ・ファシリテータは市認協役員が行い、それぞれ

A グループ 岩本氏
B グループ 石川氏
C グループ 村山氏
D グループ 藤盛氏
E グループ 高橋氏
F グループ 大戸氏

が担当した。

10. グループワーク発表

- ・A グループ：ファシリテータ（岩本氏）

- ・皆で認知症に関する映画を見る。

例えば、

- ・「八重子のハミング」
- ・「ただいま それぞれの居場所」

- ・市民向けの相談講座
- ・いろいろなチラシに英語の表記があると喜ばれる。
 - ・フィリピンの方から好評。
 - ・外国語にたけている方が一緒に行って頂けると良いか。

- ・B グループ：ファシリテータ（石川氏）

- ・市認協会長及び副会長から市民からの相談を受ける立場として
 - ・対面式の方が相談はしやすい、
 - ・ハイブリッドになるにしろまずはやってみるのが良いであろう、
という意見を頂いた。
- ・漫然と質問を受け付けるのではなく、幾つかのパターンの困難事例の回答を用意するのが良いのでは。
- ・事前の告知が必要になるであろう。

・Cグループ：ファシリテータ（村山氏）

- ・コロナ禍で外に出ることは難しい。
- ・コジマリであれば良いのではないかな。
- ・オンラインを使ってボランティア団体による演奏（青木氏）
- ・認知症当事者の方々の講演を聞いてみたい。
- ・「認知症サポーター養成講座」の出張講座を行いたい。

・Dグループ：ファシリテータ（藤盛氏）

- ・安全対策を行えば良いのではないかな（イベントの開催）。
- ・プロ野球を見ていると人数制限もないような気がする。
- ・相談も対面で行っても良いのではないかな。
- ・対策が取れば良いのではないかな。

- ・ウェルコミは使い勝手が良い。
 - ・24時間換気システムを導入して安全対策が行われている。
 - ・トイレも給湯器が装備されている。
 - ・階段が長い、エレベータが入口から遠い等の難点がある。
 - ・ハイブリッドであれば研修も行えるのではないかな。
 - ・在宅介護者研修を屋外と繋いで40人以上可能かな。
 - ・実際に見学をしてみても良いのではないかな。

・Eグループ：ファシリテータ（高橋氏）

- ・ウェルコミも良いけど外でのイベントでも良いのではないかな。
- ・参加対象者を絞るのが先決ではないかな。
- ・コロナ禍で認知症の症状が憎悪した感じがする。
- ・対象者を外に出す機会を作りたい。

- ・現状では役員が動いているのが主なのでイベントを行いたい。
- ・できれば屋外の方が良い。
- ・結果的には認知症ウォークになるのか。
- ・少人数でもいいから外の空気を吸うイベントでも良いのではないかな。

・Fグループ：ファシリテータ（大戸氏）

- ・イベント型の行事もいいかな。
- ・「認知症サポーター養成講座」を行いたい。
- ・オンラインが進んできているのでオンラインを使ってみてはどうか。
- ・ネットワーク環境が重要だと思う。
- ・イベント型でも良いがターゲットが限られてしまうのではないかな。
- ・出前の講座はどうだろう。

9. 各発表に対して

- ・何らかのイベントを行うことに対して参加者はみな賛成であった。
- ・出前型のイベント（認知症サポーター養成講座等）については「通いの場」を行っている市役所と連携ができないか。
 - ・後日、「市原市役所 高齢者支援課」に問い合わせた結果「通いの場」に通ってきている市民の方々にインフォメーションを行うことは可能との回答を得た。

8. インフォメーション

- ・「ファーコスだいたした」は「だいたした薬局」に名称変更となっています。
- ・地域包括支援センターは（地区）福祉総合相談センターの機能が加わりました。
- ・令和4年4月26日 「介護者居酒屋」がウェブにて行われます。

Zoom ID 583 621 7992

パスワード 123456

以上、この議事録が正確であることを証します。

ウェブ開催のため議事録署名人の署名・捺印は省略。

